

# 赤潮発生状況について

加藤 慎治・萩平 将

赤潮情報伝達事業の一環として、県下における赤潮発生状況を取りまとめたので報告する。なお、赤潮発生時などの情報収集、現場における赤潮の推移状況、被害発生調査等は前年と同様の方法で実施した。

## 結 果

表1に平成16年の赤潮発生状況，図1に赤潮発生件数と被害件数の推移，図2に赤潮形成域の分布をそれぞれ示した。本年は4件の発生が認められ，前年より7件少なかった。このうち，12月に阿南市榑泊湾から海部郡沿岸で広く発生した*Mesodinium rubrum*による赤潮では，特に高密度に発生した榑泊湾内において養殖ハマチおよびカンパチが酸欠によりへい死し1,300尾，3,000千円の漁業被害が発生した。

また播磨灘では赤潮形成には至らなかったものの，有害種の*Karenia mikimotoi*が比較的高密度に発生した。その他の有害プランクトンによる赤潮，漁業被害は発生しなかった。

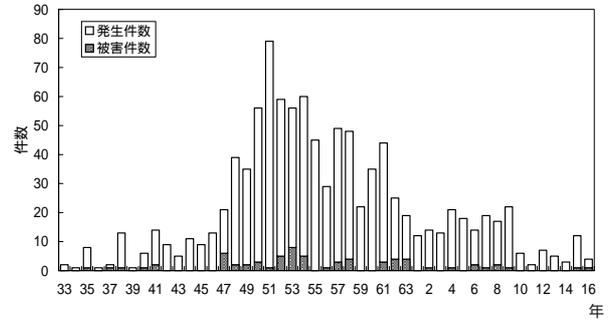


図1 赤潮の発生件数と被害件数の推移

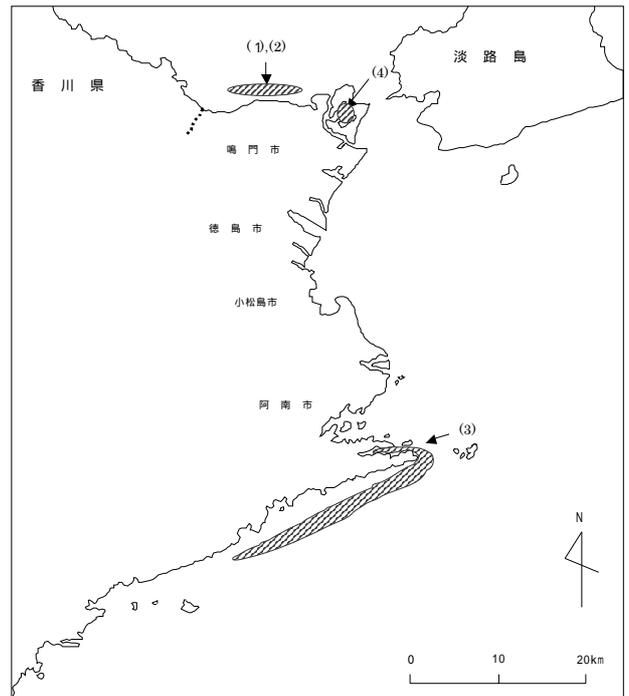


図2 赤潮形成域の分布

図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

表1 平成16年の赤潮発生状況

整理番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数 (cells/ml)	備考
1	6/8～6/22	15	鳴門市北灘町沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明	
2	11/7～11/12	6	鳴門市北灘町沿岸	<i>Mesodinium rubrum</i>	無	5,000	
3	12/1～12/18	18	阿南市～海部郡沿岸	<i>Mesodinium rubrum</i>	有	5,000	椿泊湾内の養殖ハマチ、カンパチが斃死。1,300尾。3,000千円
4	2/1～3/11	39	内ノ海	<i>Skeletonema costatum</i>	無	45,000	